

22-11-09

犬山遊園駅 駅舎にパブリックアートを設置 ～アートに込める「犬山の思い出・ストーリー」を募集します～

名古屋鉄道は、国宝犬山城や日本庭園 有楽苑等の観光地に近い犬山遊園駅に、犬山の桃太郎伝説など地域のストーリーを題材としたパブリックアート(※)を設置します。これは、犬山駅に次ぐ観光の拠点駅である犬山遊園駅の下り方面駅舎にアートという付加価値を加えることで、「訪れて楽しい駅」として犬山市内の周遊促進と、「地域住民の方にも愛される駅」となることを目指すためのものです。

また、今回駅舎に設置するアートの一部である影絵に、皆様の犬山エリアの桃太郎伝説に関わる思い出を募集します。募集した犬山の思い出・ストーリーをアートに反映することで、より身近に感じられる駅舎となります。

詳細は下記のとおりです。

※パブリックアートとは、美術館やギャラリー以外の道路や公園など公共空間に設置される芸術作品で、地域のシンボルとして人と地域を結び付け、地域の交流や経済を活性化させる役割を持ちます。

記

1. パブリックアートについて

(1) コンセプト

犬山城を水面に映す木曾川の流れ 豊かな自然の恵と子孫繁栄の象徴である桃のレリーフ
桃太郎伝説に込められた犬山の人々の思いと歴史を未来の記憶へ
光と影、ミラーは水面のように情景を反射し、物語は影絵のシルエットとなり追想する
四季折々の犬山の情景と物語が犬山遊園駅舎に投影される

(2) テーマ

犬山の歴史と自然と人々の記憶を犬山遊園駅駅舎がつなぎ、利用する人々の未来へとつながる思いを創出する。

(3) 実施内容

① 駅舎

木曾川の流れをイメージした装飾を施し、犬山の歴史や思い出を反映させた影絵を設置します。

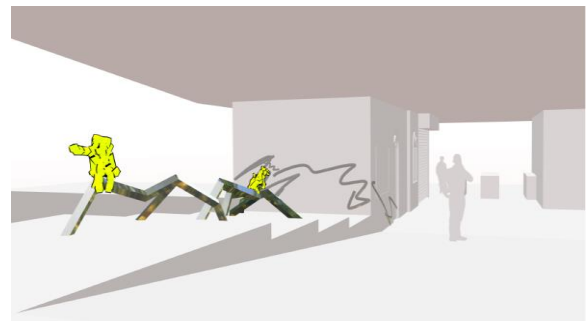
② 待合スペース

桃太郎伝説に登場するイヌ・サル・キジのオブジェをあしらった歓待アートを設置します。

【完成イメージ】



犬山遊園駅の下り方面駅舎装飾



歓待アートオブジェ

(4) 制作者

○アーティストックディレクター 清水 敏男 Toshio Shimizu

パリのルーヴル美術館大学で美術史とアートマネジメントを学び、東京都庭園美術館キュレーター、水戸芸術館現代美術センター芸術監督を経て、1997年に独立、国際的なキュレーターとして活動。TOSHIO SHIMIZU ART OFFICE 立ち上げ後は、既存の枠組みに捕らわれない、親しみやすく楽しいアートをコンセプトに、世界各地のパブリックアートプロジェクトに携わっている。

○アーティスト 渡辺 元佳 Motoka Watanabe

都市空間と人間の関係性に興味を持ち、人々が精神的に都市空間とつながる手助けができるような屋外彫刻作品を国内外問わず制作・設置する取り組みをおこなっている。

2016年には、東京銀座の旧名古屋商工会館ビルの改修に伴い、宝童稲荷神社参道・猿結参道のデザインならびに彫刻を制作・設置。2020年には渋谷 MIYASHITA PARK 屋上に YOUwe.を設置、2021年には中国中山市に高さ 5.7m の大型彫刻 Find Our Happiness が完成。

2. 「犬山の思い出・ストーリー」募集について

(1) 概要

駅舎に設置する影絵のコンテンツとなる犬山の思い出・ストーリーを募集します。ご応募いただいた犬山の思い出・ストーリーから厳選し、犬山遊園駅のアートに反映します。

(2) 募集期間

2022年12月9日(金)まで

(3) 応募方法

下記 URL よりご応募ください。

URL: <https://forms.gle/gqmuNxAz66xamPRh8>



(4) その他

採用された方には、ホテルインディゴ犬山有楽苑のペアランチチケットを進呈します。

3. 今後のスケジュール

2023年1月下旬～2月上旬 竣工予定

4. お客さまからのお問合せ先

名鉄お客さまセンター TEL: 052-582-5151

(月曜日～金曜日: 8時～19時、土日祝(年末年始含む): 8時～18時)

本事業は、令和4年観光庁「地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業」の一環として取り組むものです。

以上